

◆前営業日の相場動向◆

経済指標上振れで米国株上昇、FRB人事を巡るドル安が継続

	8/28	前日比		8/28	前日比		8/28	前日比
日本国債(10年)	1.615%	-0.010%	日経平均(円)	42,828.79	308.52	ドル円	146.93	-0.49
独国債(10年)	2.695%	-0.005%	独DAX(pt)	24,039.92	-6.29	NY原油	64.60	0.45
米国債(10年)	4.203%	-0.031%	NYダウ(ドル)	45,636.90	71.67	NY金	3,445.80	25.50

【ポイント】

- **日本株は上昇**：早朝に公表された半導体大手エヌビディアの決算を受けて、同社株は夜間で軟調に推移。日本株も売り先行でスタートした。しかし、積極的に売り込む動きは限定的で、著名投資家が日本の商社株を買い増したことが伝わると上昇に転じた。
- **米国株は上昇**：公表された経済指標でGDPが大幅に上方修正され、雇用も改善傾向にあることが示され、高寄り。利益確定売りに押された半導体大手エヌビディア株が引けにかけては買いが入り下げ幅を縮小し、結局3指数揃って上昇。
- **米金利はまちまち**：欧州時間より金利は上昇。経済指標が全般に強めの数字となったことで一段と金利は上昇した。しかし売り一巡後はこのところ金利上昇が目立った長期ゾーンが金利低下。一方、短期ゾーンは上値が重く金利上昇。
- **ドル円は下落**：クック理事解任を巡るドル不信の流れが継続し、ドルは主要通貨に対して終日売りが優勢の展開。ドル円は147円台を割り込んだ。

【主な材料】

- 4-6月GDP改定値：前期比年率+3.3%（予想+3.1%、速報+3.0%）
- 週間新規失業保険申請件数(8/23)：22.9万人(予想23万人、前週23.4万人)

◆本日の見通し◆

ドル不信のドル円下落となるなか、業績見極め日本株は上値の重い展開となる

日本株 ➡ 42,100-43,100

米金利 ➡ 4.15-4.23

ドル円 ➡ 146.00-147.30

- **日本株**は下落を予想。米国株高が好感され買いが先行するものの、7月以降の業績を見極める段階に移行しており、ドル円の下落が重石に。
- **米金利**は低下を予想。月末のインデックスによる買いニーズもあり、10年金利は4.2%の節目を試す展開を想定。
- **ドル円**は下落を予想。米金利低下とドル不信をテーマに下値を切り下げる展開を想定。

◆本日の注目ポイント◆

エヌビディアの決算はポジティブ。中長期的に底堅い成長が見込まれる

- 以下は、昨日付け発行レポート [日米欧 Market View:エヌビディアの決算 FY2026 2Q](#) の抜粋である。詳細は当該レポートを参照されたい。
- FY26 2Qの売上高は467.4億ドル(コンセンサス：462.3億ドル)、EPSは1.05ドル(コンセンサス：1.01ドル)といずれもコンセンサスを上回った。また、3Qのガイダンスは、売上高見通しが540億ドルとコンセンサス(534.6億ドル、H20の対中輸出を見込まないベース)を上回った。底堅い決算であったが、昨日の株価は利益が確定売りの動きに押された。
- 引き続きAI需要が旺盛で、売上高の約9割を占めるDatacenterセグメントが、QoQ+5.1%と売上をけん引した(図表1、3)。また、Gamingセグメントは、QoQ+13.9%と過去最高を更新。ゲーム大手任天堂の新家庭用ゲーム機器 Nintendo Switch2は同社のプロセッサとAIを活用したDLSSを搭載しており、今後も同セクターの堅調な推移が予想される。
- また、同社は米国政府よりH20製品の中国市場への輸出を規制されていたため、2Qには中国向けの販売実績がなかったものの、制限のない顧客へ販売したことで引当金が1.8億ドル取り崩されたと報告している。H20製品関連費用は一過性の計上であったこと等もあり、売上高粗利益率は、前四半期の60.8%から72.4%へ大きく改善した。ただし、前四半期を除くとFY25以降では最低水準である。同社は年後半にかけて利益率が改善していく見通しを示しており、その確度も高いとみている。今後の改善に期待したい。(担当：武居)

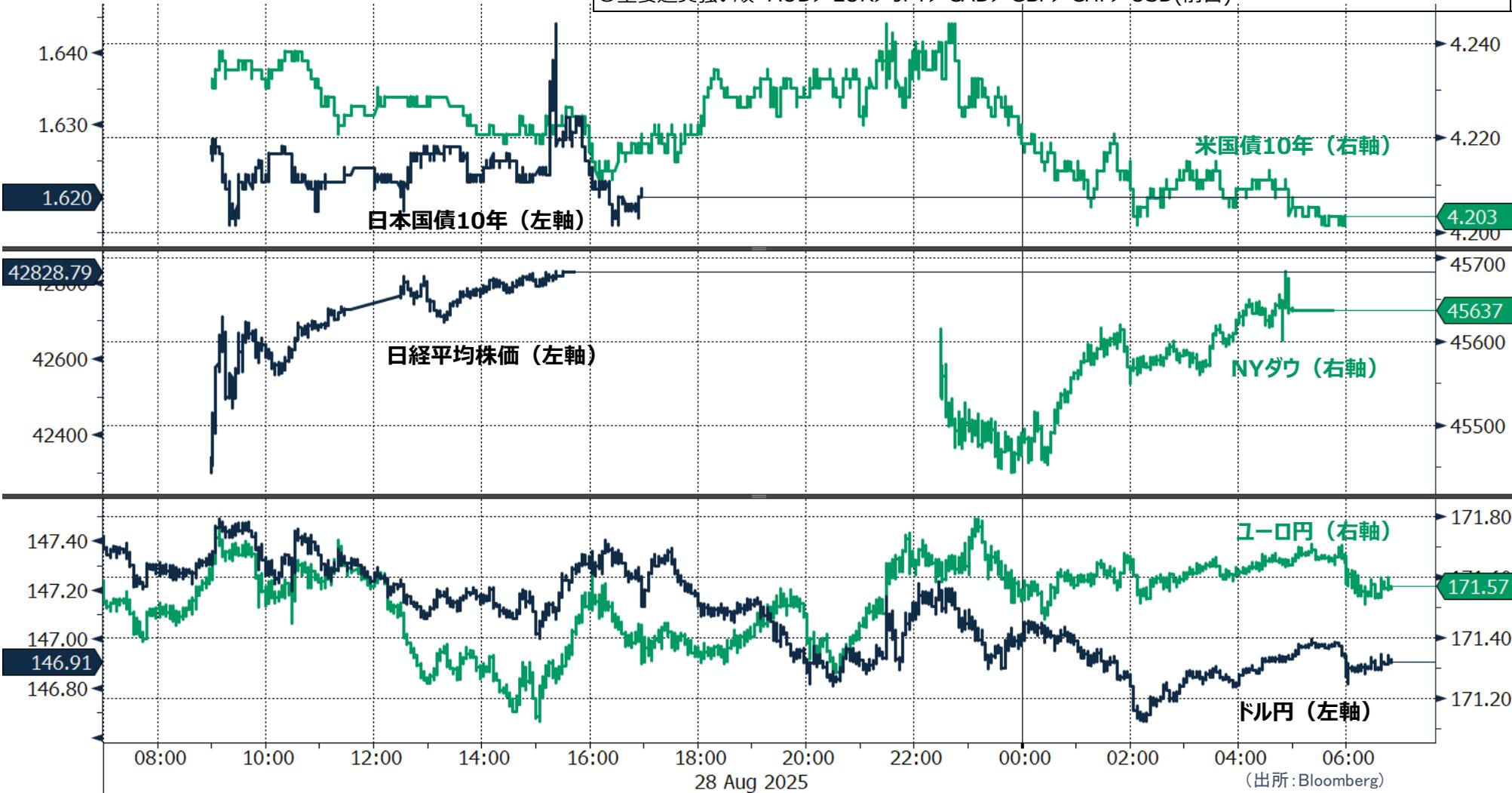
	イベント	注目点
9/5	米国8月雇用統計	9/17FOMCでの利下げの可能性を占うのに8月雇用統計と9/11CPIは重要な材料となる。雇用者数の減速基調が確認されれば利下げに向けた一歩と解釈されるであろう。
9/17	FOMC	7月雇用統計の悪化とジャクソンホールでのパウエルFRB議長講演を受けて利下げがコンセンサスとなっている。四半期毎に公表されるFRB高官の金融政策見通しが注目点。



りそな マーケットフラッシュ デイリー

◆前営業日のマーケット動向◆

○東証1部33業種中 29業種が上昇（値上がり率上位） 鉱業指数> 非鉄金属指数> 証券・商品先物(前日)
 ○S&P11業種中 7業種が上昇（値上がり率上位） コミュニケーション・サービス> エネルギー> 情報技術(前日)
 ○主要通貨強い順 AUD> EUR> JPY> CAD> GBP> CHF> USD(前日)



◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい
 ると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として
 あり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

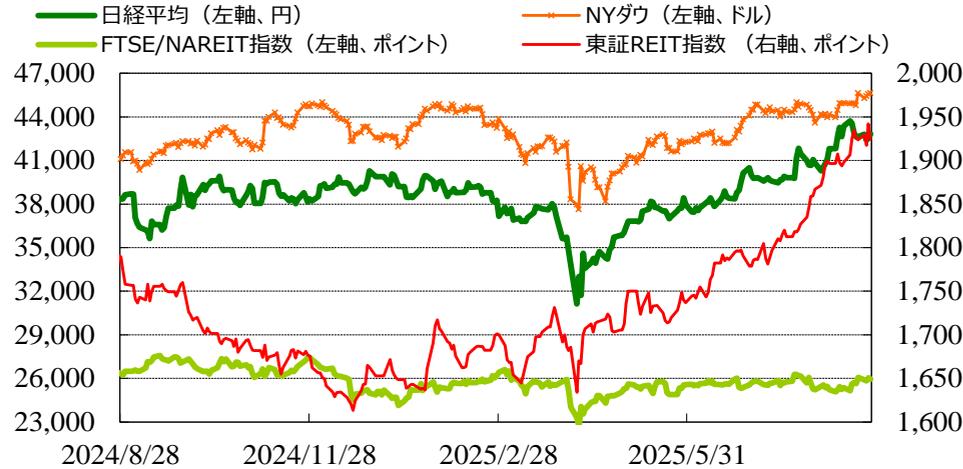


りそな マーケットフラッシュ デイリー

(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

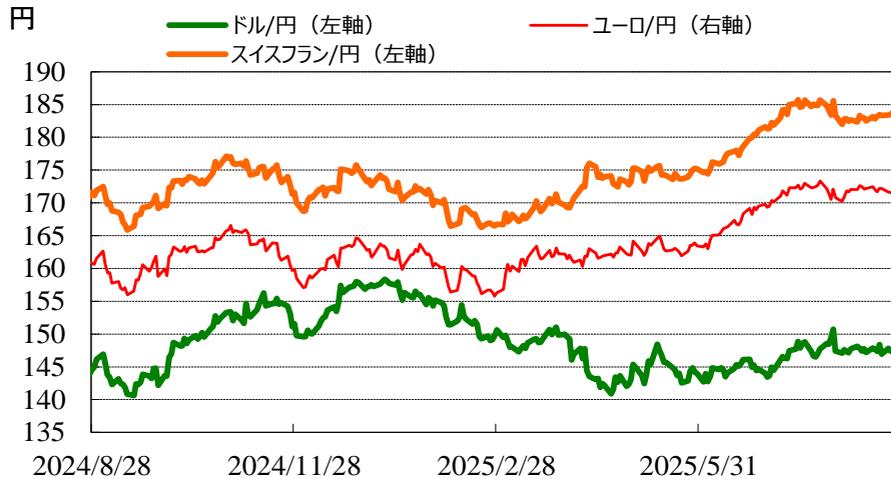
図表1：株式市場（日経平均、NYダウ、東証REIT指数、FTSE/NAREIT指数）



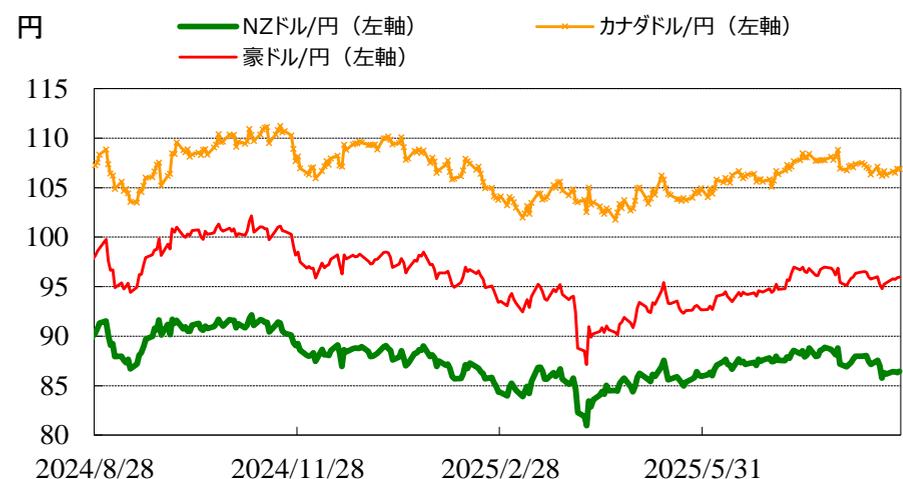
図表2：債券市場（日米2年金利、10年金利）



図表3：為替市場（ドル/円、ユーロ/円、スイスフラン/円）



図表4：為替市場（豪ドル/円、NZドル/円、カナダドル/円）



◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。



りそな マーケットフラッシュ デイリー

(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

図表5：為替市場（ブラジルレアル/円、メキシコペソ/円、トルコリラ/円）



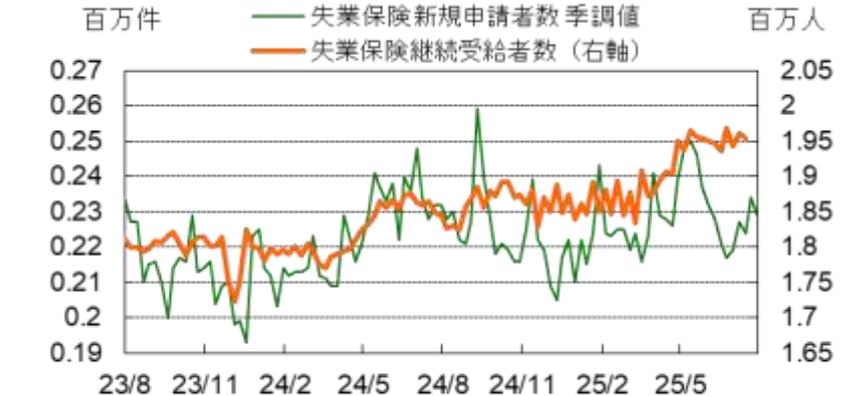
図表6：株式市場（ブラジル株、インド株、中国株）



図表7：商品市場（金・原油）



図表8：新規失業保険申請件数



新規失業保険申請件数(8/23)：22.9万人（予想23万件、前週23.4万件）

失業保険継続受給者数(8/16)：195.4万人(予想196.6万人、前週196.1万人)

◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。

